

地域の恵みを形にする 妙見センター クッキングスペース

今年度、妙見センターに、大人数分の調理や作り置きができる高性能な調理機器を備えたクッキングスペースを整備しました。仲間との料理づくりや地域の集まりなど、新しいクッキングスペースをぜひ一度ご利用ください。

今回は、クッキングスペースの高性能機器を活用した「鮭のハーブフライ」のレシピをご紹介します。

【今回使用する機器】

- ・スチームコンベクションオーブン
- ・小型急速冷却機

※機器の詳細は、市ホームページをご覧ください。

【材料(5人前)】

- 鮭(1切れ30～60g)・・・5切れ
- 塩・・・適量
- こしょう・・・適量
- パン粉・・・100g
- オリーブオイル(お好みの量)・・・適量
- 小麦粉・・・10g
- 溶き卵・・・1個
- 〈材料A〉
- ドライパセリ・・・0.5g
- ドライバジル・・・0.5g
- 粉チーズ・・・10g

(下準備)

- 鮭は塩、こしょうを振って下味を付ける。(焼きパン粉を作る)
- パン粉、オリーブオイルをよく混ぜ合わせ65mmホテルパンに広げる。スチームコンベクションオーブン【コンビモード、蒸気量0%、200℃】で7分間加熱し、小型急速冷却機で粗熱を取る。

(作り方)

- ① 焼きパン粉に、〈材料A〉を加えて混ぜ合わせる。
- ② 鮭に小麦粉、溶き卵、①のパン粉の順に衣を付ける。
- ③ 25mmホテルパンに②を並べる。
- ④ スチームコンベクションオーブン【コンビモード、蒸気量40%、200℃】で10分間加熱する。



鮭のハーブフライ

予約、設備、利用料金の詳細は、市ホームページをご覧ください
■問合せ 農政課農政係 TEL76-1185



このまちで暮らす

枕崎で見つけた、新しい暮らし

移住者インタビュー Vol.2



枕崎市の
お気に入りとは？
食べ物がおいしいこと。そして、人が親切なところです！

今月は

奈良 千恵子さん

- 📍 出身地：鹿児島県(鹿児島市)
- 📅 現在の活動：まくらざき地域づくり事業協同組合(8月末現在、お魚センター勤務)

まくらざき地域づくり事業協同組合では、マルチワークという働き方で、期間ごとにさまざまな事業所で働く人たちが活躍しています。今回は、現在、枕崎お魚センターで働く奈良さんに、枕崎での暮らしや仕事、実際に感じた魅力などについて伺いました。移住者の視点から見た「枕崎の暮らし」を紹介します。

01 来たきっかけは？

知り合いのSNSをきっかけにまくらざき地域づくり事業協同組合を知り、「マルチワーク×最南端ライフ」という言葉にひかれて枕崎へ。「新しいことに挑戦してみたい」と思い、新たな一歩を踏み出しました。

03 今やっていることは？

現在は、枕崎お魚センターの調理場で仕事をしています。飲食業は初めての経験で、やってみて初めて分かる大変さもありました。短期間ごとにさまざまな業種で働ける環境にも魅力を感じています。

02 暮らして感じたことは？

枕崎で暮らして感じたのは、まちのコンパクトさと暮らしやすさ。そして、枕崎の風景を眺める中で、「このまちにも、自分にも、まだいろいろな可能性がある」と感じるようになりました。

04 これからについて

これからどうなるかは分かりませんが、いただいている仕事に感謝しながら、健康に過ごしたいです。まだ知らない枕崎もたくさんあるので、人とのつながりを大切にしながら、もっとまちを知っていきたいです。

まくらざき地域づくり事業協同組合・・・枕崎市で令和7年9月に設立された南薩地域初の特定地域づくり事業協同組合です。市内の多様な事業者が参加し、地域全体で人と仕事をつなぐ仕組みを構築しています。



スポーツ・文化 イベント情報

南浜館

開 9:00～17:00
※入館は16:30まで

休 毎週月曜日
※月曜日が祝祭日の場合は翌日

問 スポーツ・文化振興課
TEL72-9998

○南浜館臨時休館のお知らせ

9月7日(月)まで「くっきー！乙女展 in枕崎」搬出および「現代錦絵～北斗南舟の世界展」開催準備のため、南浜館は休館しています。

○現代錦絵～北斗南舟の世界展

鹿児島市出身で、現在霧島市に在住する現代錦絵作家・北斗南舟氏の展覧会を開催します。戊辰の役をテーマにした錦絵作品を展示します。会期中には北斗南舟氏による記念講演会を開催します。

●会期 9月8日(火)～17日(木)

※月曜日休館

●入館料 一般200円、高校・大学生100円、中学生以下無料

●会期中の催し＜記念講演会＞

・演題：「明治への道 戊辰の役」

・講師：北斗南舟氏

・期日：9月13日(日)午後1時30分～3時

・会場：南浜館研修室

●主催 明治維新の足跡原画展実行委員会

○スポーツフェスinまくらざきを開催

市民の健康維持、増進を図るために、誰でも参加できるニュースポーツ体験を軸としたスポーツフェスinまくらざきを開催します。また、当日は10月18日(日)の市民運動会で行う市民ダンス(め組のひと)の練習会も実施します。

●期日 10月3日(土)

●時間 午前9時～正午、午後1時～2時30分

●会場 総合体育館

●内容

○体力測定および幼児向け体力テスト

○ニュースポーツ体験

○明治安田生命による健康チェック

○市民ダンス練習会

(午前11時30分～、午後2時～)

●申込み方法 右の2次元コードを読み取り、必要事項を入力し、申し込みください。

幼児の体力テストを希望する場合は、事前の申込みをお願いします。

●問合せ スポーツ振興係 TEL76-1348



市長

コラム

vol.87



特定第三種漁港

全国津々浦々には2700を超す漁港があります。その中で本市の枕崎漁港は特定第三種漁港に指定されています。特定第三種漁港とは、全国的な利用範囲を持つ第三種漁港(114港)のうち、水産業の振興上特に重要として政令で定められた拠点で、枕崎漁港を含む全国13港が指定されています。その13港は、北から青森県の八戸漁港、宮城県の気仙沼漁港、石巻漁港、塩釜漁港、千葉県の銚子漁港、神奈川県三崎漁港、静岡県焼津漁港、鳥取県の境漁港、島根県の浜田漁港、山口県の下関漁港、そして九州では福岡県の博多漁港、長崎漁港と枕崎漁港となっています。

この13の漁港を有する市の首長で組織する全国特定第三種漁港市長協議会という組織があり、今年は気仙沼市で8月に通常総会が開催されました。総会では、それぞれの漁港の最近の水揚げ状況などをお互いに共有し、今後の水産振興についての意見交換などを行います。水産業を取り巻く環境の厳しさや温暖化による漁場の環境変化など課題はありますが、それぞれの漁港がその強みを伸ばしていくことに取り組んでいます。会に参加して感じるのは、港の価値であり、ポテンシャルの高い漁港を持つていることへの感謝です。国内シェアの50%以上、生産量日本一を誇る枕崎鰯節とその生産の起点となる漁港を持つことへの感謝、さらにはその歴史を築いてこられた先人など、関係する皆さんへの感謝です。

枕崎市に暮らす者として、この海の恵み、そして港を私たちの宝物として市民の皆さんといっしょに、しっかりと育んでいかなければと思います。